

【地下水水位等の観測】

地下水の存在状況や季節による地下水の変動を把握するため、水位・水量・水質等の観測を行います。

■既に設置済みの観測孔やボーリング調査後に設置する観測孔のほか、湧水が確認されている箇所において地下水水位等の測定を行います。

■測定は1箇所あたり30分程度で概ね1か月間隔にて行います。



地下水観測孔の観測状況



湧水の観測状況

測量・地質調査に関する問い合わせ先

<諏訪バイパス事業担当> 国土交通省 長野国道事務所 計画課 道路事業推進室
担当：黒岩、地曳 住所：長野市鶴賀字中堰 145 電話：026-264-7009

<測量担当> (株)伊藤測量設計
担当：伊藤 奨、伊藤 一寿 住所：長野市青木島町大塚 1520-3 電話：026-254-7154

<地質調査担当> (株)エイト日本技術開発
担当：渡辺、山本 住所：東京都中野区本町 5-33-11 電話：03-5341-5159

国道20号諏訪バイパス建設促進期成同盟会 令和5年度総会・要望活動

令和5年度国道20号諏訪バイパス建設促進期成同盟会総会を、5月24日に下諏訪町役場において開催しました。総会では、令和4年度事業報告、令和5年度事業計画、中央要望及び長野要望の実施等が承認されました。また、早期全線事業化に向けた「国道20号諏訪バイパス建設促進に関する決議」の確認をしました。



総会 渡辺会長のあいさつ



国土交通省 丹羽道路局長への要望

国道20号諏訪バイパスと国道20号下諏訪岡谷バイパスの早期完成のため、7月7日に関東地方整備局、国土交通省、財務省、地元選出議員へ、また8月10日に長野国道事務所、長野県建設部への要望活動を行いました。国土交通省の丹羽道路局長からは「未事業化区間についても事業化に向けて進めて行く。環境について十分に留意していく。」との話がありました。

問合せ先

国道20号諏訪バイパス建設促進期成同盟会事務局

諏訪市建設部国道バイパス推進室

TEL：0266-52-4141（内線271）／FAX：0266-52-8164／E-mail：bypass@city.suwa.lg.jp

下諏訪町建設水道課国道バイパス推進室兼関連調整係

TEL：0266-27-1111（内線246）／FAX：0266-28-8783／E-mail：kanren@town.shimosuwa.lg.jp

国道20号諏訪バイパス事業化区間における
測量・地質調査の説明会が開催されました

令和5年4月の国の予算成立により、諏訪バイパス10.3kmの内5.6kmが事業化されました。それに伴い、事業主体の長野国道事務所による「諏訪バイパス事業化区間における測量・地質調査の説明会」が、令和5年10月6日から10月31日に、諏訪バイパスの事業化区間ルート上の諏訪市6地区・下諏訪町5地区の計11地区において開催されました。

この説明会では、事業の経緯から今後の事業の流れ、測量及び地質調査の内容等について説明がされ多くの住民の皆様が出席されていました。説明内容の概要につきましては、以下のとおりです。

説明内容の概要

【今後の主な事業の流れ】

- ①事業着手
- ②測量・地質調査 (測量・地質調査の実施内容と土地の立入り等の説明を行います) 【説明会の内容】
- ③道路設計 (道路・トンネル・橋梁などを測量・地質調査の結果を基に詳細に設計します)
- ④用地幅杭設置 (道路に必要な範囲を明示するため、現地に用地幅杭を設置します)
- ⑤用地測量・調査 (境界の立会や土地・建物等の物件調査を行います)
- ⑥用地交渉 (用地測量・調査の結果や補償内容の説明を行います)
- ⑦埋蔵文化財調査 (必要に応じて調査・記録保存を行います)
- ⑧工事着手 (工事内容や工事の進め方、工事用車両の通行を含む安全対策の説明を行います)
- ⑨開通

諏訪バイパスの概要図 ※事業化に向けた地質調査を行います。



発行主体

国道20号諏訪バイパス建設促進期成同盟会・下諏訪町国道20号下諏訪岡谷バイパス建設促進期成同盟会・事務局（諏訪市・下諏訪町）

測量の実施範囲及び概要について

測量作業は、諏訪市上諏訪の主要地方道諏訪白樺湖小諸線付近から、下諏訪町東町の国道142号間にて実施します。測量作業は、主に無人航空機(ドローン)を用いたUAVレーザ測量にて行います。

【UAVレーザ測量について】

UAVレーザ測量はバイパス計画路線上空の無人航空機から地表面に向けてレーザを照射し、レーザが反射する時間や飛行位置等を計測することにより、現地の地形状況等の測定を行います。なお、現地の状況等により従来の測量方法も併用して測量を行います。測量作業は作業準備の後、説明会以降に現地踏査に着手し、令和6年3月末までを目途に実施します。UAVレーザ測量と現地補測作業は12月末頃までを予定しています。※天候や準備等により測量期間が変更になる場合があります。

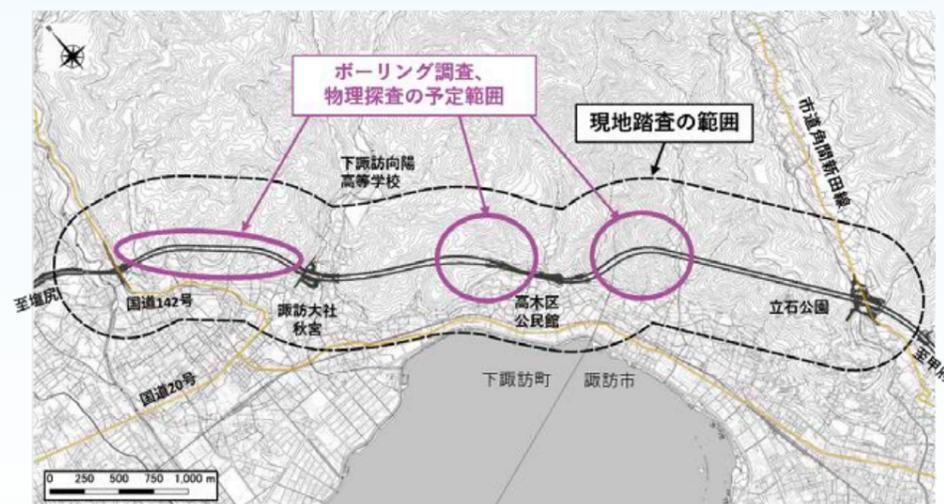
- 居住地の上空を飛行する際は、実施期間等を記載した資料を回覧版にてお知らせするとともに、上空を飛行するエリアの各戸に同資料を配布いたします。
- 居住地に立ち入らせていただく際には、事前にお声がけさせていただきますので、ご協力をお願いいたします。
- 無人航空機は地上より60m以上の高さを水平に飛行し、電波障害等が発生した際の安全対策やプライバシーに配慮して測量を行います。



国土地理院地図(国土電子Web)

地質調査の実施範囲及び概要について

諏訪バイパスのトンネルや橋梁などの設計を行うため、現地の地質状況等の調査を行います。地質調査は、現地踏査、ボーリング調査、物理探査(弾性波探査・電気探査)、地下水水位等の観測を行います。※今後の現地踏査等を踏まえ、○印以外も地質調査を行う場合があります。



【現地踏査について】

諏訪バイパス周辺の地形や地質の状況を確認するため、現地踏査を行います。
 ■沢地形となっている箇所や岩盤が露出している範囲などを観察し、写真撮影やスケッチを行います。

【ボーリング調査について】

諏訪バイパスの地質状況等を確認するため、現地に掘削機を設置してボーリング調査を行います。地中の岩石や土砂などを採取し、試験室にて強度等の測定を行います。
 ■現地に作業台とやぐらを設置し、掘削機にて直径5~10cm程度の穴を掘り、地中の岩石や土砂の確認や採取を行います。調査地点までは、モノレールや運搬車を用いて機材等の運搬を行います。
 ■1箇所の調査に要する期間は1ヶ月程度を予定していますが、運搬ルート等の条件等により期間が前後する場合があります。



ボーリング調査の例

搬入車による機材搬入の例

モノレールによる機材搬入の例

【物理探査の概要について】

地中の岩盤状況等を確認するため、地表面に人工的に振動や電気を流し、離れた場所への振動や電気の伝わり方を計測することによって、岩盤の硬さや土質などと併せて地下水の状態等の調査を行います。

- 地表に300~500メートルほどの観測測線を設定して計測を行います。
- 作業期間は、1箇所(測線)あたり1~2週間程度(測量等の期間を含む)を予定しています。

【物理探査(弾性波探査)】

地表面に人工的に振動を流し、離れた場所への振動の伝わり方を計測することによって岩盤の硬さ等の調査を行います。

- 作業時には、道路や山道等の人が出入りする道沿いに探査作業を行う旨の看板を設置します。
- 作業期間は、1箇所(測線)あたり3~4日程度を予定しています。

【物理探査(電気探査)】

地表面に人工的に電気を流し、離れた場所への電気の伝わり方を計測することによって、土質や地下水の状態等の調査を行います。

- 電気探査は弾性波探査と同じ位置にて行います。
- 作業期間は、1箇所(測線)あたり2~3日程度を予定しています。